

ふりがな

きどう よしゆき

氏名

貴堂 嘉之

1. 学歴

- 1989年3月 東京大学教養学部地域文化研究（アメリカ科）卒業
1989年4月 東京大学大学院総合文化研究科地域文化専攻修士課程入学
1992年3月 同課程修了
1992年4月 同博士課程進学
1992年9月 コロンビア大学大学院歴史学部博士課程入学
1994年3月 コロンビア大学大学院及び東京大学大学院総合文化研究科中途退学
2012年9月 東京大学大学院総合文化研究科にて論文博士（学術）取得

2. 職歴・研究歴

- 1994年4月 東京大学教養学部外国語科助手
1995年5月 千葉大学文学部講師
2000年1月 千葉大学文学部助教授
2000年8月 サンフランシスコ州立大学アジア系アメリカ人研究科客員研究員（2001年8月まで）
2002年4月 一橋大学大学院社会学研究科助教授（2002年9月まで千葉大学文学部併任）
2010年4月 一橋大学大学院社会学研究科教授
2020年9月～ 一橋大学大学院社会学研究科 研究科長
2020年9月～ 一橋大学社会学部 学部長

3. 学内教育活動

（A）主な担当講義名

（a）学部学生向け

アメリカ社会史総論、アメリカ社会史特論、史料講読、社会研究入門ゼミ、社会科学概論Ⅱ

（b）大学院

アメリカ研究、社会科学のなかのジェンダー

（B）ゼミナール

学部後期、大学院

4. 主な研究テーマ

- 1) 移民国家アメリカの歴史をまとめること。
- 2) 21世紀のいまを踏まえ、アメリカ史の通史を描くこと。
- 3) アメリカ合衆国の優生学運動の歴史をまとめること。
- 4) Harper's Weekly を中心に収集した諷刺画という視覚表象史料を使って、人種とその表象に関する新しい研究方法をさぐること、Thomas Nast のライフストーリーをあつかった評伝をまとめること。
- 5) 歴史教育、高校世界史教科書の執筆。

5. 研究活動

A. 業績

(a) 著書・編著

- ・近藤孝弘編『歴史教育の比較史』（共著），名古屋大学出版会，2020。（分担部分：第五章アメリカ合衆国—近代から始まった国として，245-302）
- ・歴史学研究会編『コロナの時代の歴史学』（共著），績文堂出版，2020（分担部分：第五章 感染症が照らした人権と差別：アメリカ社会とコロナ禍—人種マイノリティ差別とブラック・ライヴズ・マター運動，109-117）
- ・『シリーズアメリカ合衆国史② 南北戦争の時代 19世紀』，岩波書店，2019.
- ・『移民国家アメリカの歴史』，岩波新書，2018.
- ・長谷川修一・小澤実編『歴史学者と読む高校世界史-教科書記述の舞台裏-』（共著），勁草書房，2018.（分担部分：第4章 高校世界史教科書におけるアメリカ合衆国-人種・エスニシティ・人の移動史を中心に）69-83）
- ・佐藤文香・伊藤るり編『ジェンダー研究を継承する』（共著），人文書院，2017.（分担部分：第二部 歴史を拓く—女性史・ジェンダー史・男性史— 総説，225-233）
- ・歴史学研究会編『現代歴史学の成果と課題 第一巻 新自由主義時代の歴史学』（共著），績文堂出版，2017.（分担部分：下からのグローバル・ヒストリーに向けて—人の移動、人種・階級・ジェンダーの視点から—，64-78）
- ・兼子歩、貴堂嘉之編『「ヘイト」の時代のアメリカ史-人種・民族・国籍を考える-』（編著），彩流社，2017.
- ・羽田正編『ミネルヴァ世界史叢書1 地域史と世界史』（共著），ミネルヴァ書房，2016.（分担部分：サンフランシスコ—西部開拓・帝国都市・近代—，268-290）
- ・南塚信吾、秋田茂、高澤紀恵編『新しく学ぶ西洋の歴史—アジアから考える』（共著），ミネルヴァ書房，2016.（分担部分：第7章第6節、第8章第6節）
- ・歴史学研究会、日本史研究会編『「慰安婦」問題を/から考える—軍事性暴力と日常世界—』（共著），岩波書店，2014.（分担部分：コラム 軍事化論の射程—「慰安婦」問題の置かれている歴史的位相—，153-158）
- ・和田光弘編『大学で学ぶアメリカ史』（共著），ミネルヴァ書房，2014.（分担部分：第6章 南北戦争と「再建の時代」，115-138）
- ・弘末雅士編『越境者の世界史—奴隷・移住者・混血者—』（共著），春風社，2013.（分担部分：第一部序 近代における奴隷と自由； 第4章 奴隷解放と人種主義のグローバル・ヒストリー「奴隷国家」から「移民国家」へのアメリカ合衆国の変容，15-18，83-97）
- ・樋口映美・貴堂嘉之・日暮美奈子編『<近代規範>の社会史—都市・身体・国家—』（共編著），彩流社，2013.（分担部分：まえがき；第6章「健康優良コンテスト狂想曲—革新主義期の「科学」とアメリカ優生学運動—」，3-6，137-161）
- ・『世界史B 教授用指導書』（共著），実教出版，2013.
- ・『高校世界史B（平成25年新課程）』（共著），実教出版，2012.
- ・『アメリカ合衆国と中国人移民—歴史のなかの「移民国家」アメリカ—』，名古屋大学出版会，2012.
- ・木本喜美子・貴堂嘉之編『ジェンダーと社会—男性史・軍隊・セクシュアリティ』（編著），旬報社，2010.
- ・有賀夏紀・小檜山ルイ編『アメリカ・ジェンダー史研究入門』（共著），青木書店，2010.
- ・有賀夏紀・紀平英作・油井大三郎編『アメリカ史研究入門』（共著），山川出版社，2009.（分担部分：第二部 テーマ編：第1章「歴史のなかの人種・エスニシティ・階級」，170-189）
- ・竹沢泰子編『人種の表象と社会的リアリティ』（共著），岩波書店，2009.（分担部分：1章 「アメリカ合衆国における「人種混交」幻想—セクシュアリティがつくる「人種」」，28-56）
- ・歴史学研究会編『世界史史料第7巻 南北アメリカ 先住民の世界から19世紀まで』（共著），岩波書店，2008.

- ・古矢旬・山田史郎編『権力と暴力』（共著），ミネルヴァ書房,2007.（分担部分：6章「移民国家アメリカの「国民」管理の技法と「生一権力」—人種主義と優生学—,133-154）
- ・歴史学研究会編『世界史史料第10巻 20世紀の世界Ⅰふたつの世界大戦』（共著），岩波書店,2006.（分担部分：第2章）
- ・森村敏己編『視覚表象と集合的記憶—歴史・現在・戦争—』（共著），旬報社,2006.（分担部分：第6章：ホワイトネス研究の方法と国民国家論—ネイションの記憶・人種の表象—,171-201）
- ・アメリカ学会編『原典アメリカ史 社会史史料集』（共著），岩波書店,2006.（分担部分：第14章 「国民」の境界をめぐる—国民化の「暴力」,189-200）
- ・樋口映美、中條献編『歴史のなかの「アメリカ」—国民化をめぐる語りと創造』（共著），彩流社,2006.（分担部分：第1章：「血染めのシャツ」と人種平等の理念—共和党急進派と戦後ジャーナリズム、附論：日米のナショナリズム・国民意識に関する研究史,21-42、370-394、共著者：附論は戸邊秀明と共著）
- ・川島正樹編『アメリカニズムと「人種」』（共著），名古屋大学出版会,2005.（分担部分：第4章：未完の革命と「アメリカ人」の境界—南北戦争の戦後50年論—,113-139）
- ・油井大三郎・遠藤泰生編『浸透するアメリカ、拒まれるアメリカ—世界史の中のアメリカニゼーション』（共著），東京大学出版会,2003.（分担部分：＜アメリカ人＞の境界と「帰化不能外国人」—再建期の国民化と中国人問題—,52-71）
- ・有賀夏紀・油井大三郎編『アメリカの歴史—テーマで読む多文化社会の夢と現実』（共著），有斐閣アルマ,2003.（分担部分：第8章：太平洋を越えて—アジア系移民の歴史,157-170）
- ・三宅明正・山田賢編『歴史の中の差別』（共著），日本経済評論社,2001.（分担部分：『人種』とは何か—アメリカのなかの『アジア』から考える—,37-65）

(b) 論文

- ・「座談会「トランプと移民問題」」（共著）『アメリカ研究』通巻54号,p.1-19, アメリカ学会,2020.4
- ・「移民国家アメリカの歴史再考—ヘイトの時代に歴史学ができること—」『歴史学研究』通巻989号,p.12-21, 績文堂出版,2019.10
- ・「アメリカ学会の学会活動50年史」『『アメリカ研究』別冊 50周年記念特別号』, アメリカ学会,2016.12
- ・「2016年歴史学研究会大会報告批判、全体会」『歴史学研究』通巻952号,p.47-49,2016.11
- ・「政治風刺画家トマス・ナストのライフヒストリー」『立教アメリカン・スタディーズ』通巻37号,p.55-80, 立教大学アメリカ研究所,2015.5
- ・「移民国家アメリカの優生学運動—選び捨てるの論理をめぐる—」『歴史評論』2015年4月号, 歴史科学協議会,2015.3
- ・「一橋大学における「学問を変える」実践例」『学術の動向』第19巻第12号,2014
- ・「2013年度歴史学研究会大会報告批判 近代史部会」『歴史学研究』通巻913号,p.53-55, 青木書店,2013
- ・「「人種化」の近代とアメリカ合衆国—ソシアビリテの交錯と「国民」の境界—」『歴史学研究』通巻846号,p.90-99, 青木書店,2008.10
- ・“Anti-miscegenation and Asian Americans” Daizaburo Yui (ed.) *The World of Transnational Asian Americans* (アメリカ太平洋研究) 6, p.81-99, Center for Pacific and American Studies, University of Tokyo, 2006.3
- * 「「血染めのシャツ」と人種平等の理念—共和党急進派と戦後ジャーナリズム」『アメリカ研究』通巻39号,p.21-42, アメリカ学会,2005.3
- ・「中国系移民の人種・アメリカ・越境—環太平洋空間にみる「人種」—」（共著）竹沢泰子編『基盤研究B(2)研究成果報告書「人種」の概念と実在性をめぐる学際的基礎研究」研究代表者 竹沢泰子』,p.121-138,2004.5
- ・「アメリカ合衆国のネーション・人種・移民—ホワイトネス研究を中心に—」『歴史と地理：世界史の研究』通

巻 569 号, p.1-14, 山川出版社, 2003.11

- * 「帝国と国民国家のあいだーアジア系移民の越境・人種・アメリカー」『日本学報』 通巻 22 号, p.1-20, 大阪大学大学院文学研究科日本学研究室, 2003.3
- ・「アメリカ社会史研究における新しい視座と展望」『一橋論叢』 第 129 巻第 4 号, p.448-465, 2003
- ・「アメリカ移民史研究の現在」『歴史評論』 2002 年 5 月号, 2002
- ・「南北戦争・再建期の記憶とアメリカ・ナショナリズム研究——トマス・ナスト政治諷刺画リスト(3)1881~1896——」『千葉大学 人文研究』 通巻 31 号, 2002
- ・「南北戦争・再建期の記憶とアメリカ・ナショナリズム研究——トマス・ナスト政治諷刺画リスト(2)1871~1880——」『千葉大学 人文研究』 通巻 30 号, 2001
- * 「〈アメリカ人〉の境界の帝國的再編——世紀転換期の中国人移民政策の変容: 1882~1906——」『アメリカン・スタディーズ』 通巻 5 号, 2000
- ・「南北戦争・再建期の記憶とアメリカ・ナショナリズム研究——トマス・ナスト政治諷刺画リスト(1)1859~1870——」『千葉大学 人文研究』 通巻 29 号, 2000
- * 「ギルディッド・エイジにおける階級統合のかたち——労働騎士団の結社の文化と中国人問題——」『アメリカ史研究』 通巻 21 号, 1998
- ・「アメリカにおける中国系移民研究・諷刺画のなかの中国人——排華派と擁護派のプロパガンダ戦——」胡垣坤ほか編『カミングマン』, 平凡社, 1997
- * 「中国人移民のイメージの相克——トマス・ナストの風刺画の世界——」日本移民学会編『移民研究年報』 通巻 3 号, 1997
- * 「「帰化不能外人」の創造——1882 年排華移民法制定過程——」『アメリカ研究』 通巻 29 号, 東京大学地域文化研究会, 1995

(c) 翻訳

- ・『オリエンタルズ—大衆文化のなかのアジア系アメリカ人—』(原著: Robert G. Lee, *Orientalists: Asian Americans in Popular Culture*, Temple University Press, Philadelphia, 1999 年, 英語), 岩波書店, 2007.
- ・『現在に生きる遊牧民—新しい公共空間の創出に向けて』(原著: アルベルト・メルッチ), 岩波書店, 1997; 第二版, 1999.
- ・『カミングマン—19 世紀アメリカの政治諷刺漫画のなかの中国人』(共訳), 胡垣坤・曾露凌・譚雅倫編, 平凡社, 1997.
- ・「規律的規範としての資本主義の精神—大塚久雄の戦後思想」(共訳), 山之内靖編『総力戦と現代化』, 柏書房, 1995.

B. 本研究科着任後の研究活動 (着任 2002 年)

(a) 国内外学会発表

- * 「移民国家アメリカの歴史研究とナショナリズムの問題」, 早稲田大学ナショナリズム・エスニシティ研究所講演会, 2021.03.06, ウェビナー開催 (招待講演)
- * 「不適者」とは誰か—アメリカ合衆国の優生学運動と断種実践— (シンポジウム 「優生学とジェンダー—強制不妊 (断種) を中心に」), ジェンダー史学会, 2020.12.13, 早稲田大学
- ・「総合討論 シンポジウム「開国の前線に立つ女性たち—近代の性売買におけるインターナショナルリティ」」, ジェンダー史学会, 2020.10.24, お茶の水女子大学
- ・「合評会 『環太平洋世界の移動と人種—統治から管理へ、遭遇から連帯へ』合評会」, 京都大学人文科学研究

- 所 (人文研アカデミー) 東京大学グローバル地域研究機構 (IAGS) 科学研究費基盤 (S) 「人種化のプロセスとメカニズムをめぐる複合的研究」, 2020.8.24, ZOOM 開催
- ・「NHK『これでわかった!世界のいま』要望書騒動—日本での課題—」, 京都大学人文科学研究所&慶應義塾大学アメリカ学会主催、緊急リレートーク 「ブラック・ライブズ・マター運動の背景と課題」 2020.6.21, ZOOM Webinar 開催
 - * 「大学におけるジェンダー/セクシュアリティ教育——橋大学ジェンダー社会科学研究センターの経験から—」, 青山学院女子短期大学総合文化研究所 研究プロジェクト「大学におけるジェンダー教育と男女共生社会」, 2019.10.03, 青山学院大学
 - ・「合評会『移民国家アメリカの歴史』(岩波書店、2018年)」, 日本アメリカ史学会第45回例会, 2019.07.13, 明治大学
 - * 「移民国家アメリカの歴史再考—「ヘイト」の時代に歴史学ができること—」, 2019年度歴史学研究会全体会 「排外主義の時代における歴史学の課題—「排除」と「共生」を問う」, 2019.5.25, 立教大学
 - * 「「移民国家」アメリカという歴史の教訓」, ILO 協議会海外社会労働事情研究会, 2019.3.8, 千代田プラットフォームスクエア
 - * 「奴隷制における「近代」とは何か —アメリカ合衆国の奴隷制研究史を中心に—」, 第116回史学会大会公開シンポジウム「「奴隷」と隷属の世界史」, 2018.11.24, 東京大学本郷キャンパス
 - * 「多様性を抱きしめる—大学のグローバル化と研究教育環境の整備—」, 2017年度アカデミックキャリア講習会「大学で教えるということ—多様な私たちの学びの場に向けて」, 2018.1.26, 一橋大学
 - ・「合評会 兼子歩・貴堂嘉之編『「ヘイト」の時代のアメリカ史—人種・民族・国籍を考える—』(彩流社、2017) 編者として本書の紹介」, 日本アメリカ史学会, 2017.12.9, 明治学院大学
 - ・「人の移動史からみたアメリカ合衆国の「帝国」論—黒人奴隷史と移民国家アメリカの歴史をつなぐ—」, 帝国史研究会, 2017.3.29, 上智大学
 - * 「アメリカ社会は分裂するのか? —オバマのアメリカ、トランプのアメリカ—」, 関東学院大学経済学会主催講演会, 2016.12.9, 関東学院大学
 - * 「一橋大学ジェンダー社会科学研究センター10年の歩み—その成果と課題—」, 国際ジェンダー学会, 2016.9.10, 一橋大学
 - ・「軍事化とジェンダーの視点から(コメント)」, ジェンダー史学会シンポジウム 「ポスト「戦後70年」とジェンダー史—地域のジェンダー実践を思考の手がかりに—」, 2016.6.26, お茶の水女子大学
 - ・「「制度」のなかのLGBT—教育・結婚・軍隊—(趣旨説明、司会)」, ジェンダー史学会, 2015.12.13, 大妻女子大学
 - ・「ヘイトクライムとアメリカ(司会&討論者)」, アメリカ学会第49回年次大会, 2015.6.6, 国際基督教大学
 - ・「高校歴史教科書における〈アメリカ合衆国〉—人種・エスニシティ、人の移動史を中心に—」, 立教大学文学部主催 公開シンポジウム「高校世界史教科書記述・再考 研究者の視点から」, 2015.3.4, 立教大学
 - * 「東洋人イメージの原型—アメリカ合衆国と中国人移民—」, 平成26年日本大学学術研究助成金[総合研究]「チート」の時代—20世紀初頭の東洋人表象—, 2014.12.5, 日本大学国際関係学部
 - ・「コメント「第一部:環太平洋における日本帝国という経験」, 環太平洋をつなぐエイジェンシー —人、物、知の循環—」, 2014.12.20, 上智大学
 - * 「トマス・ナストの風刺画の世界—サンタクロースとアメリカ大統領をつくる—」, 立教大学アメリカ研究所「アメリカの社会とポピュラーカルチャー」研究会, 2014.10.4, 立教大学
 - ・「討論者 自由論題D カリフォルニア・ハワイ・アジア系」, アメリカ学会第48回年次大会, 2014.6.7, 沖縄コンベンションセンター
 - ・「討論者「学問を変える」」, 日本学術会議学術フォーラム「男女共同参画は学問を変えるか?」, 2014.5.31, 日

本学術会議

- ・「主旨説明「軍事化とジェンダー」 ジェンダー史学会第10回記念大会」, ジェンダー史学会第10回記念大会, 2013.12.7, 一橋大学
- * 「書評会 貴堂嘉之『アメリカ合衆国と中国人移民—歴史のなかの「移民国家」アメリカ—』, 西洋近現代史研究会 10月例会, 2013.10.26, 専修大学
- * 「私の高校世界史教科書づくりと大学での歴史教育」, アメリカ学会、年次大会、部会A連続企画 アメリカの教え方(教科書を作る), 2013.6.2, 東京外国語大学
- ・「『日本帝国崩壊期『引揚げ』の比較研究』5名報告へのコメント」, 日本移民学会 2012年度ワークショップ, 2013.3.30, 法政大学市ヶ谷キャンパス
- * 「中国人移民がつくる「移民国家」アメリカ—奴隷・移民・人種—, 国際シンポジウム近代世界と移動する人々の論理 —「移民」概念を問い直す, 2013.1.26, 日本女子大学新泉山館国際交流センター
- ・「一橋大学ジェンダー社会科学研究センターの取り組み—ジェンダー教育プログラム(GenEP)の成果と課題—, 全学FDシンポジウム「男女共同参画と大学教育」, 2013.1.23, 一橋大学・「国際シンポジウム 人種神話を解体する Dismantling the Race Myth 第3部 Hybridity- 「血」の政治学を越えて—総括コメント」, 科研基盤研究(S)「人種表象の日本型グローバル研究」, 2012.12.16, 国立京都国際会館
- * 「移民国家アメリカのシティズンシップ再考—「長い19世紀」のヒトの移動のグローバル・ヒストリーから—, 日本アメリカ史学会第9回(通算37回)年次大会, 2012.9.23, 一橋大学
- * 「アメリカ合衆国における人種混交幻想—奴隷解放とアジア系移民排斥」, 日本西洋史学会第62回大会 シンポジウム「西洋文明と他者—比較の中の人種意識—」, 2012.5.20, 明治大学駿河台キャンパス
- ・「コメント 大谷誠「20世紀前半の英国における「精神薄弱者問題」」, 現代史研究会, 2011.1.29, 共立女子大学
- ・「コメント 研究報告会「人種・歴史・表象」」, 日本アメリカ史学会, 2010.12.4, 専修大学
- * 「アメリカにおける奴隷解放と人種論」, 科研「近代移行期における奴隷・移住者・混血者」シンポジウム, 2010.9.19, 立教大学
- ・「コメント」, 国際シンポジウム「環太平洋地域における日本人の国際移動」セッション4: 移住先世界から見た環太平洋日本人世界, 2009.10.11, 立命館大学
- ・「合評会コメント『ジェンダーから世界を読むII —表象されるアイデンティティー』」, 一橋大学語学研究室例会, 2009.4.15, 一橋大学
- ・「総合討論・司会」, The 12th Kyoto University International Symposium: Transforming Racial Images -Analyses of Representations, 2008.12.8-9., 京都大学百周年時計台記念館百周年記念ホール
- ・「シンポジウム: 世界史教育のなかのアメリカ史 コメント」, 日本アメリカ史学会, 2008.9.20, 東洋学園大学
- * 「「人種化の近代」とアメリカ合衆国—ソシアビリテの交錯と「国民」の境界—」, 歴史学研究会 近代史部会「分類のポリテクス—近代的「人種」の再検討」, 2008.5.18, 早稲田大学
- ・「男性史研究の展望へのコメント(三報告—加藤千香子「ジェンダー史としての男性史研究」; 海妻径子「<フェミニスト男性史>は可能か—男性性権力の理論と歴史、そして運動」; 兼子歩「<男性史>から<ジェンダー史>へ、<ジェンダー史>から<ジェンダー化された歴史>へ—アメリカ史研究における男性性をめぐる考察—」)」, 先端課題研究ワークショップ, 2007.10.19-20, 一橋大学
- * 「ホロコーストのなかの「アメリカ」—アメリカ優生学運動の歴史—」, 日本アメリカ学会・年次大会「歴史と記憶の制度化をめぐる」, 2007.6.10, 立教大学
- * 「アメリカ港市世界における奴隷・移住者・混血者をめぐる研究の現状と課題」, 「近代移行期の港市における奴隷・移住者・混血者—広域社会秩序と地域秩序」研究会, 2007.5.27, 立教大学
- ・「樋口映美・中條献編『歴史のなかの「アメリカ」』合評会」, 日本アメリカ史学会, 2006.7.8, 明治大学
- * 「Miscegenationの物語—アメリカ合衆国の人種秩序の政治と表象」, 京都大学人文科学研究所共同研究班「人

種の表象と表現をめぐる学際的研究」, 2006.7.14, 京都大学人文科学研究所

- ・「常松洋・松本悠子編『消費とアメリカ社会—消費大国の社会史』合評会」, 関西アメリカ史研究会, 2005.11.13, キャンパス・プラザ京都
- * 「南北戦争の記憶とアメリカ社会の再編」, 戦争の記憶とアジア太平洋地域の国際関係研究会, 2004.4.9, 如水会館
- * 「「未完の革命」とくアメリカ人>の境界—19世紀後半の中国人移民問題を中心に—」, アメリカ史研究会・シンポジウム「アメリカ史における「人種」の意義」, 2003.9.20, 南山大学
- * 「諷刺画のなかの国民・人種・アジア: 19世紀アメリカの国民統合と排華運動を中心に」, 京都大学人文科学研究所「人種」の概念と実在性をめぐる学際的基礎研究」研究会, 2003.1.9, 京都大学人文科学研究所
- * 「<国民>と<他者>表象の技法—19世紀後半における中国人移民をめぐる—」, アメリカ史研究会第200回例会・越境のなかのナショナリズム, 2002.7.23, 東京大学駒場キャンパス
- * 「帝国と国民国家のあいだ—中国人移民と日本人移民の比較」, 大阪大学 日本学方法論の会「越境の中の近現代日本」, 2002.6.14, 大阪大学豊中キャンパス文学研究科
- ・「ディアスポラとアメリカ文学」, アメリカ学会第34回年次大会, 2000.6.4, 帝塚山大学
- ・“Comments on Teruko Kumei, An Ethnic Education in the Land of Inclusiveness”, Balancing between Japaneseness and Assimilation, 1999.7.31, Center for American Studies, Ritsumeikan University, Kyoto
- * 「日本における「国民国家」論・「国民化」論の研究動向—アメリカ合衆国と日本近代の場合」, アメリカ史研究会第185回例会, 1999.6.19, 青山大学
- * 「再建期のカリフォルニアにみる『人種』と『国民』の境界」, アメリカ学会第32回年次大会, 1998.6.7, 千葉大学
- ・「日本・米州関係史における文化接触と社会変容」コメント」, 第22回アメリカ史研究者夏期セミナー, 1997.8.26, 福岡市厚生年金会館
- ・「日系コミュニティと日米関係」コメント」, アメリカ史研究会第172回例会, 1996.11.16, 明治大学

(b) 国内研究プロジェクト

- ・科学研究費補助金、基盤研究(C), 「アメリカ合衆国の排外主義/レイシズムの世界史的考察—移民・黒人問題・歴史教育—」(研究代表者), 独立行政法人日本学術振興会, 2020.4-2024.3
- ・科学研究費補助金、基盤研究(A), 「「奴隷」と隷属の世界史—地中海型奴隷制度論を中心として—」(研究分担者), 独立行政法人日本学術振興会, 2020.4-2024.3
- ・科学研究費、基盤研究(B), 「地中海型奴隷制度の史的展開とその変容—隷属の多様性をめぐる比較的研究—」(研究分担者), 独立行政法人日本学術振興会, 2017.4-2020.3
- ・科学研究費、基盤研究(C), 「グローバル世界における近代的歴史教育形成の比較研究」(研究分担者), 独立行政法人日本学術振興会, 2016.4-2019.3
- ・科学研究費補助金、基盤研究(C), 「「ホロコースト」後のアメリカ優生学運動と冷戦期政治文化の史的考察」(研究代表者), 独立行政法人日本学術振興会, 2014.4-2019.3
- ・科学研究費 基盤研究(A), 「近代移行期の港市と内陸後背地の関係に見る自然・世界・社会観の変容」(研究分担者), 日本学術振興会, 2014.4-2018.3
- ・科学研究費補助金、基盤研究(C), 「アメリカ優生学運動の世界史的考察」(研究代表者), 独立行政法人日本学術振興会, 2010.4-2014.3
- ・科学研究費補助金、基盤研究(B), 「近代市民規範のポリテクス—「社会改良」の複合的メカニズムに関する史的考察—」(研究分担者), 独立行政法人日本学術振興会, 2010.4-2014.3
- ・科学研究費補助金、基盤研究(S), 「人種表象の日本型グローバル研究」(研究分担者), 独立行政法人日本学

術振興会, 2010-2015

- ・科学研究費補助金,基盤研究 (C), 「アメリカ合衆国における優生学と人種秩序の歴史的考察—異人種間結婚禁止法と断種法」(研究代表者), 独立行政法人日本学術振興会, 2006.4-2010.3
- ・科学研究費補助金,基盤研究 (A), 「近代移行期の港市における奴隷・移住者・混血者—広域社会秩序と地域秩序」(研究分担者), 独立行政法人 日本学術振興会, 2007.4-2011.3
- ・科学研究費補助金,基盤研究 (A), 「人種の表象と表現をめぐる学術的研究」(研究分担者), 独立行政法人日本学術振興会, 2006.4-2010.3
- ・日本学術振興会人文・社会科学振興プロジェクト研究事業, 「平和構築に向けた知の展開—アメリカ研究の再編—」(研究分担者), 日本学術振興会, 2004-2007
- ・科学研究費補助金, 「アメリカ合衆国の「国民化」と「人種化」に関する歴史的考察」(研究代表者), 独立行政法人日本学術振興会, 2004.4.1-2006.3.31
- ・科学研究費補助金・基盤研究 B 1, 「アメリカにおける国民意識の歴史的考察」(研究分担者), 独立行政法人日本学術振興会, 2004.4.1-2005.3.31
- ・科学研究費補助金,基盤研究 (A), 「アジア系アメリカ人の越境と文化混合に関する比較研究」(研究分担者), 独立行政法人日本学術振興会, 2003.4-2006.3
- ・文部科学省科学研究費補助金, 「『人種』の概念と実在性をめぐる学際的基礎研究」(研究分担者), 文部科学省, 2001-2003
- ・文部省科学科学研究費補助金, 「19 世紀アメリカ合衆国における国民統合と中国系移民排斥に関する実証的研究」(研究代表者), 文部省, 1999-2000
- ・文部省科学研究費補助金, 「アジア・太平洋地域の構造変動における米国の位置と役割に関する総合研究」(研究分担者), 文部省, 1998-2002
- ・旭硝子財団研究助成, 「アメリカニゼーションの国際比較」(研究分担者), 旭硝子財団, 1998-2002
- ・文部省科学科学研究費補助金, 「19 世紀アメリカにおける中国系移民排斥運動の歴史的研究」(研究代表者), 文部省, 1997-1998

(c) 国際研究プロジェクト

- ・“Creating "America": Probing the Routes to Nationhood”, 日本アメリカ史学会主催, 専修大学, 2004.6.12, 日本アメリカ史学会代表として。

(d) 研究会、シンポ等のオーガナイズ

ジェンダー社会科学研究センターのレクチャーシリーズを多数、企画。

- ・『全学 FD シンポジウム報告書 第 18 号「男女共同参画と大学教育」』(共編著), 一橋大学大学教育研究開発センター, 2013.6.3
- ・『一橋大学大学院社会学研究科ジェンダー社会科学研究センター 第一期活動報告書(2007 年度~2011 年度)』(研究科内センター成果報告書), 2012.3
- ・一橋大学 GenEP プロジェクト編『一橋大学におけるジェンダー教育プログラムへの提言』, 一橋大学における男女共同参画社会実現に向けた全学的教育プログラムの策定プロジェクト, GenEP 最終報告書, 2007.3
- ・一橋大学 GenEP プロジェクト編『一橋大学における男女共同参画社会実現に向けた全学的教育プログラムの策定』プロジェクト報告書』, 平成 17 年度学長裁量経費プロジェクト報告書, 2006.3

C. 受賞

- ・アメリカ学会清水博賞（『アメリカ合衆国と中国人移民—歴史のなかの「移民国家」アメリカ—』に対して），アメリカ学会, 2013.6.1

6. 学内行政

（A）役員・部局長・評議員等

学部長・研究科長（2020年9月～）

評議員（2017年4月～2019年3月）

（B）学内委員会

大学院教育専門委員（2014年4月～2016年3月）

学生委員（2007年4月～2009年3月）

入学試験実施専門委員（2005年4月～2007年3月）

7. 学外活動

（a）他大学非常勤講師など

2012年10月 東京大学教授大学院総合文化研究科（2013年3月31日まで）

2013年10月 東京大学教授大学院総合文化研究科（2014年3月31日まで）

2016年4月 立教大学文学部

2019年～ 早稲田大学ナショナリズム・エスニシティ研究所招聘研究員

（b）所属学会および学術活動

アメリカ学会 副会長（2018～2020） 常務理事（2012～2020） 評議員（2008～）

アメリカ史学会 代表（2003-2004） 副代表（2004-2005） 編集長（2007～2009）

ジェンダー史学会 代表理事（2020～2022） 副代表理事（2018～2020） 常任理事（2012～）

西洋史学会

歴史学研究会

（c）公開講座・市民講座

- ・「移民国家アメリカの行方」，まちだ市民国際学～グローバル化の光と影～人の移動から考える世界，2019.6.11

（d）高校生向け出張講義・模擬講義

- ・「人種から読み解くアメリカ史—アジア系移民と「移民国家」アメリカ—」，長野県高校歴史教育研究会，2012.12.9，長野県塩尻志学館高校
- ・東進ハイスクール大学学部研究会

（e）その他（公的機関・各種団体・民間企業等における講演等）

- ・日本学術会議での講演「一橋大学における「学問を変える」実践例（特集「男女共同参画は学問を変えるか？」）『学術の動向』 2014年12月号, 2014.12

9. 一般的言論活動

- ・「バイデン米大統領就任—新路線、意義と課題は— 「白人政権」から転換」共同通信配信（長崎新聞、中國新聞、琉球新報、山陰中央新報、高知新聞、西日本新聞、埼玉新聞ほか） 2021.1.20
- ・「<対談>米中時代の「根」を探る—岩波新書『シリーズ アメリカ合衆国史』『シリーズ 中国の歴史』完結によせて 岡本隆司・貴堂嘉之」『図書』, 岩波書店, 2021.1.1
- ・「赤い共和党 VS 青い民主党 意外と新しい政党色の歴史（そこが気になるアメリカ大統領選）」『朝日新聞デジタル』, 朝日新聞, 2020.11.3
- ・「大統領選と人種問題—米政権支援に動く警察—」共同通信配信（高知新聞、北海道新聞、佐賀新聞、信濃毎日新聞、中部経済新聞など） 2020.8.30 朝刊
- ・「「黒人よりもアジア人が差別されている」の誤解 日本人に教えた米国の「制度的人種差別」」『文春オンライン』, 文藝春秋, 2020.6.23
- ・「「黒人差別なぜ今も？ 南北戦争の「戦後」に苦悩する米国」『朝日新聞』, 朝日新聞, 2020.6.11
- ・「「移民国家」理念生きる—権力抑制、立法府が機能」共同通信配信（東奥日報ほか） 2019.3.16 朝刊
- ・「アメリカ社会分断の淵源としての「南北戦争」(特集「南北戦争」)」『東京新聞』, 2017.10.22 朝刊
- ・「「人種」と「ジェンダー」から読み解くアメリカの歴史—自由の国アメリカでなぜ激しい人種差別が生まれたのか—」『Toshin Times 大学学部研究会号』, 東進ハイスクール, 2016.7
- ・「風刺画の世界に魅せられて」『H.Q.』, 一橋大学H.Q.編集部, 2010.7
- ・「学界動向 一橋大学ジェンダー社会科学研究センター」『ジェンダー史学』, ジェンダー史学会, 2008.10
- ・「多様性を抱きしめて—大学におけるマイノリティ・サポーター」『Bridges』, 一橋大学留学生センター, 2008.4.1
- ・「サンタが赤くなった日」『日本経済新聞』, 日本経済新聞社, 2006.12.23 朝刊
- ・「「イスラム」とは何か（下）米国編—「自由」掲げ「不自由」生む—」『信濃毎日新聞』 2001.9.26 朝刊